

第2部 九州と各国・地域の経済関係

第1章 九州と韓国の経済関係

1. 韓国の経済概況

国名	大韓民国
面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,127万人(出典:2016年、韓国統計庁)
首都	ソウル
人種	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

出所：外務省HP「国・地域」（基礎データ“一般事情”）より九州経済産業局作成。

図表 2-1-1 韓国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.2	2.8	2.9	3.2	2.7
名目GDP総額	10億ドル	1,484	1,466	1,500	1,624	1,720
一人当たりGDP(名目)	ドル	29,250	28,732	29,296	31,577	33,320
輸出額	億ドル	5,727	5,268	4,954	5,737	6,049
	前年比(%)	2.3	▲ 8.0	▲ 5.9	15.8	5.4
輸入額	億ドル	5,255	4,365	4,062	4,785	5,352
	前年比(%)	1.9	▲ 16.9	▲ 6.9	17.8	11.9
貿易収支	億ドル	472	903	892	952	697
対日貿易収支	億ドル	▲ 216	▲ 203	▲ 231	▲ 283	▲ 241
鉱工業生産指数	前年比(%)	0.2	▲ 0.3	2.2	2.5	1.3
失業率	(%)	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	1.3	0.7	1.0	1.9	1.5
直接投資受入額	億ドル	190	209	213	229	269*
為替レート(1ドル)	ウォン	1,052.96	1,131.16	1,160.43	1,130.43	1,100.56
為替レート(1ウォン)	円	0.10	0.11	0.09	0.10	0.10

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和元年10月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成。

2. 九州と韓国の経済動向

●2018年の九州の対韓国貿易額

輸出総額：8,324億円（前年比18.4%減） → 3年ぶりのマイナス

輸入総額：2,904億円（前年比3.2%増） → 2年連続のプラス

差引額：5,420億円（前年比▲26.7%）

●輸出品目（輸出額多い順）半導体等製造装置、半導体等電子部品、自動車

〈寄与度↑〉自動車（+1.1%）、鉄鋼くず（+0.6%）

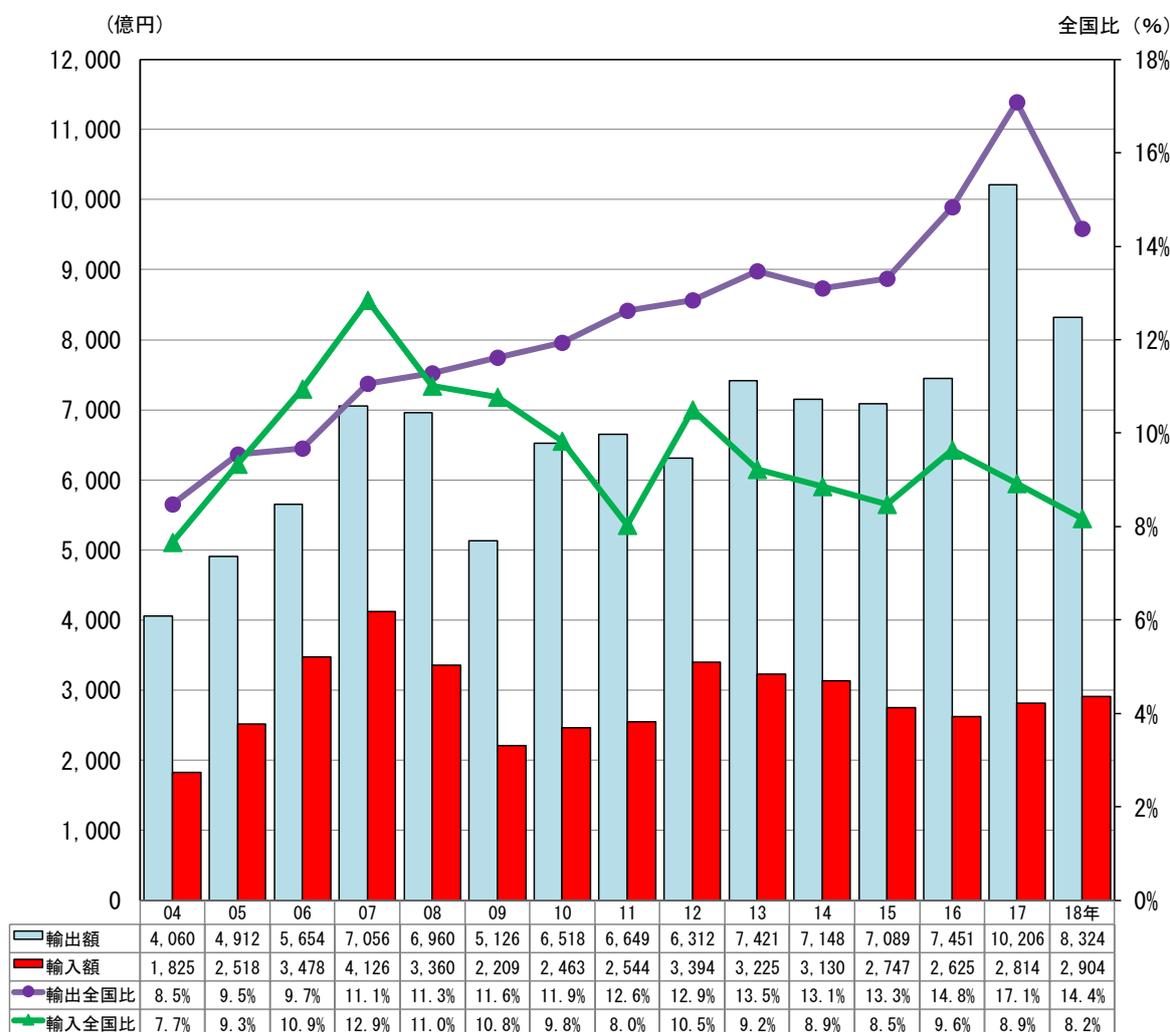
〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲12.3%）、半導体等電子部品（▲6.3%）

●輸入品目（輸入額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、有機化合物

〈寄与度↑〉石油製品（+6.8%）、有機化合物（+4.7%）

〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲1.7%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（▲1.6%）

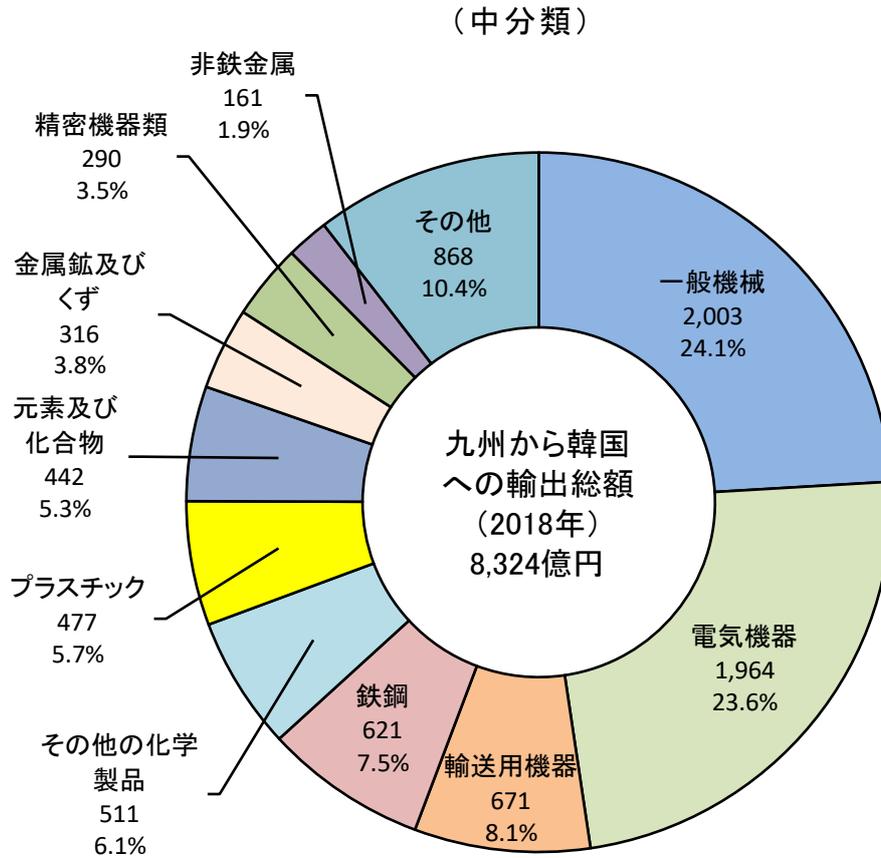
図表 2-1-2 九州の対韓国貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、関税提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-1-3 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等製造装置	一般機械	1,611	19.4%	▲43.8%	25.6%
半導体等電子部品	電気機器	1,543	18.5%	▲29.6%	60.2%
自動車	輸送用機器	619	7.4%	22.5%	79.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	560	6.7%	▲11.8%	21.5%
有機化合物	元素及び化合物	343	4.1%	▲26.6%	11.3%
科学光学機器	精密機器類	289	3.5%	▲10.9%	11.6%
鉄鋼くず	金属鋳及びくず	281	3.4%	30.0%	16.7%
電池	電気機器	95	1.1%	33.6%	50.7%
無機化合物	元素及び化合物	92	1.1%	57.8%	7.6%
映像機器	電気機器	73	0.9%	▲9.4%	46.3%
その他		2,817	33.8%	-	-
総 額		8,324	100%	▲18.4%	14.4%

寄与度 (増加分)：自動車 (+1.1%)、鉄鋼くず (+0.6%) 等

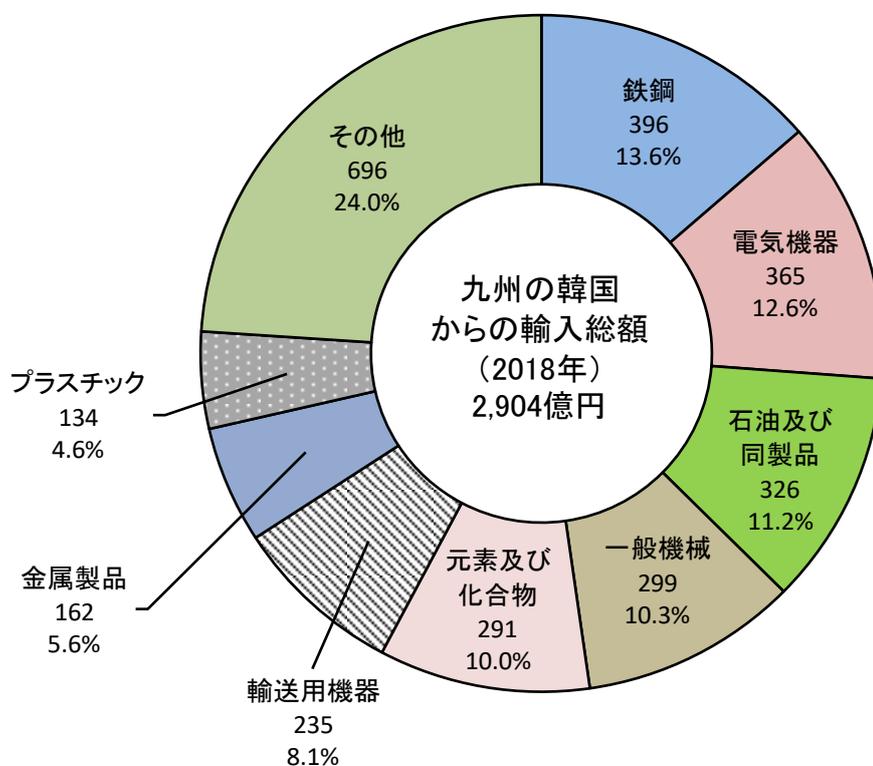
寄与度 (減少分)：半導体等製造装置 (▲12.3%)、半導体等電子部品 (▲6.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-4 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



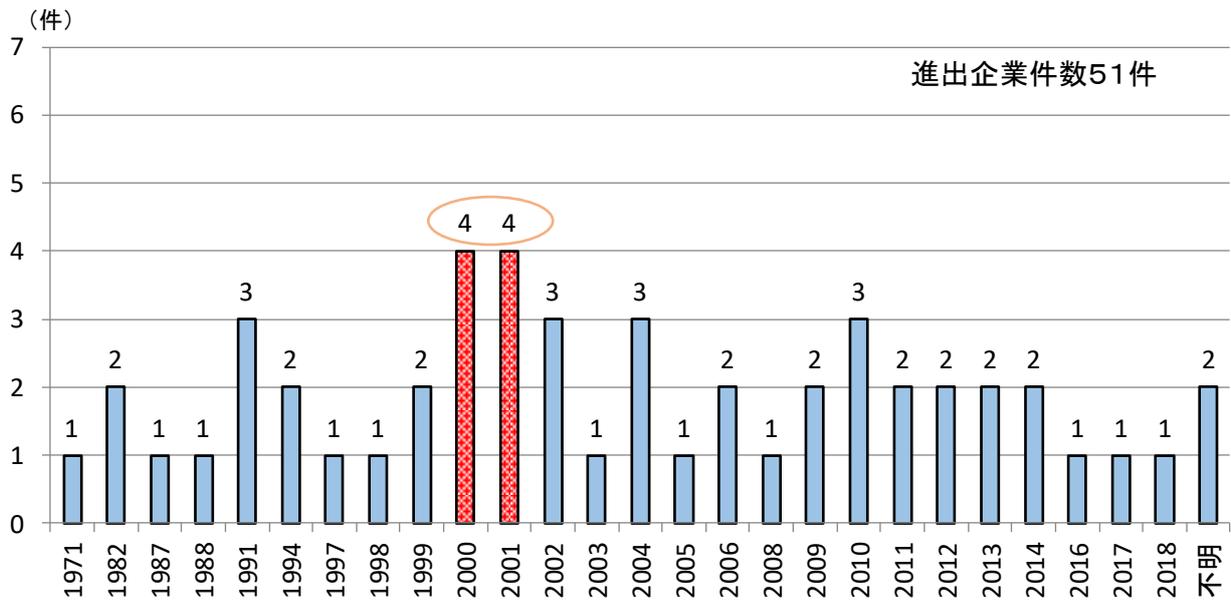
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	345	11.9%	▲12.2%	14.5%
石油製品	石油及び同製品	326	11.2%	142.8%	6.0%
有機化合物	元素及び化合物	250	8.6%	111.9%	14.2%
自動車の部分品	輸送用機器	227	7.8%	▲10.7%	28.9%
半導体等電子部品	電気機器	93	3.2%	▲23.2%	3.8%
鉄鋼製構造物及び同建設材	金属製品	83	2.9%	▲34.9%	21.2%
半導体等製造装置	一般機械	59	2.0%	▲31.0%	10.3%
電気回路等の機器	電気機器	56	1.9%	12.5%	23.5%
野菜	果実及び野菜	53	1.8%	▲17.6%	16.8%
原動機	一般機械	51	1.8%	▲33.7%	12.1%
その他		1,360	46.8%	-	-
総額		2,904	100%	3.2%	8.2%

寄与度 (増加分)：石油製品 (+6.8%)、有機化合物 (+4.7%) 等

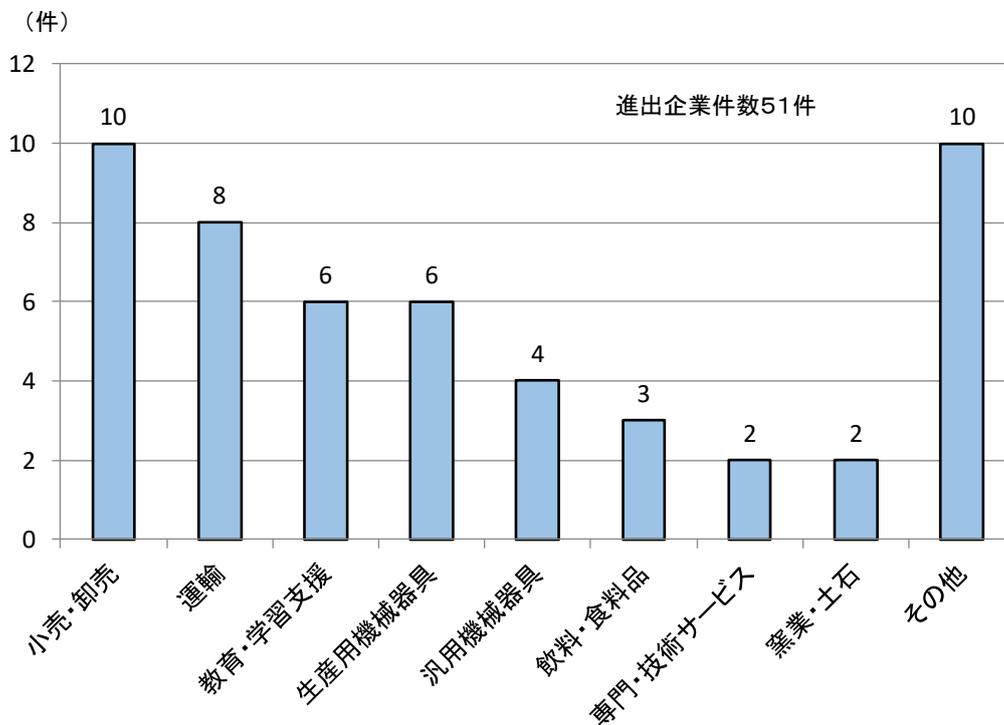
寄与度 (減少分)：鉄鋼のフラットロール製品 (▲1.7%)、鉄鋼製構造物及び同建設材 (▲1.6%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-5 九州企業の韓国への進出件数の推移



図表 2-1-6 韓国に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-1-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

第2章 九州と中国の経済関係

1. 中国の経済概況

国名	中華人民共和国
面積	約960万km ² (日本の約26倍)
人口	約13.90億人
首都	北京
人種	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言語	漢語(中国語)
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの7.2%)、第二次産業(同40.7%)、第三次産業(同52.2%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.3	6.9	6.7	6.8	6.6
名目GDP総額	10億ドル	10,535	11,226	11,222	12,062	13,368
一人当たりGDP(名目)	ドル	7,702	8,167	8,116	8,677	9,580
輸出額	億ドル	23,423	22,735	20,976	22,633	24,867
	前年比(%)	6.0	▲ 2.9	▲ 7.7	7.9	9.9
輸入額	億ドル	19,592	16,796	15,879	18,438	21,358
	前年比(%)	0.5	▲ 14.3	▲ 5.5	16.1	15.8
貿易収支	億ドル	3,831	5,939	5,097	4,196	3,510
対日貿易収支	億ドル	▲ 135	▲ 72	▲ 159	▲ 283	▲ 329
鉱工業生産指数	前年比(%)	8.3	6.1	6.0	6.6	6.2
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.1	4.0	3.9	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	2.0	1.4	2.0	1.6	2.1
直接投資受入額	億ドル	2,681	2,425	1,748	1,661	2,035 *
為替レート(1ドル)	人民元	6.14	6.23	6.65	6.76	6.62
為替レート(1人民元)	円	17.25	19.44	16.37	16.60	16.69

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和元年10月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

2. 九州と中国の経済動向

●2018年の九州の対中国貿易額

輸出総額：1兆5,359億円（前年比18.7%増） → 2年連続のプラス

輸入総額：1兆162億円（前年比4.9%増） → 2年連続のプラス

差引額：5,207億円（前年比+1,955億円）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物

〈寄与度↑〉自動車（+6.9%）、半導体等製造装置（+6.6%）

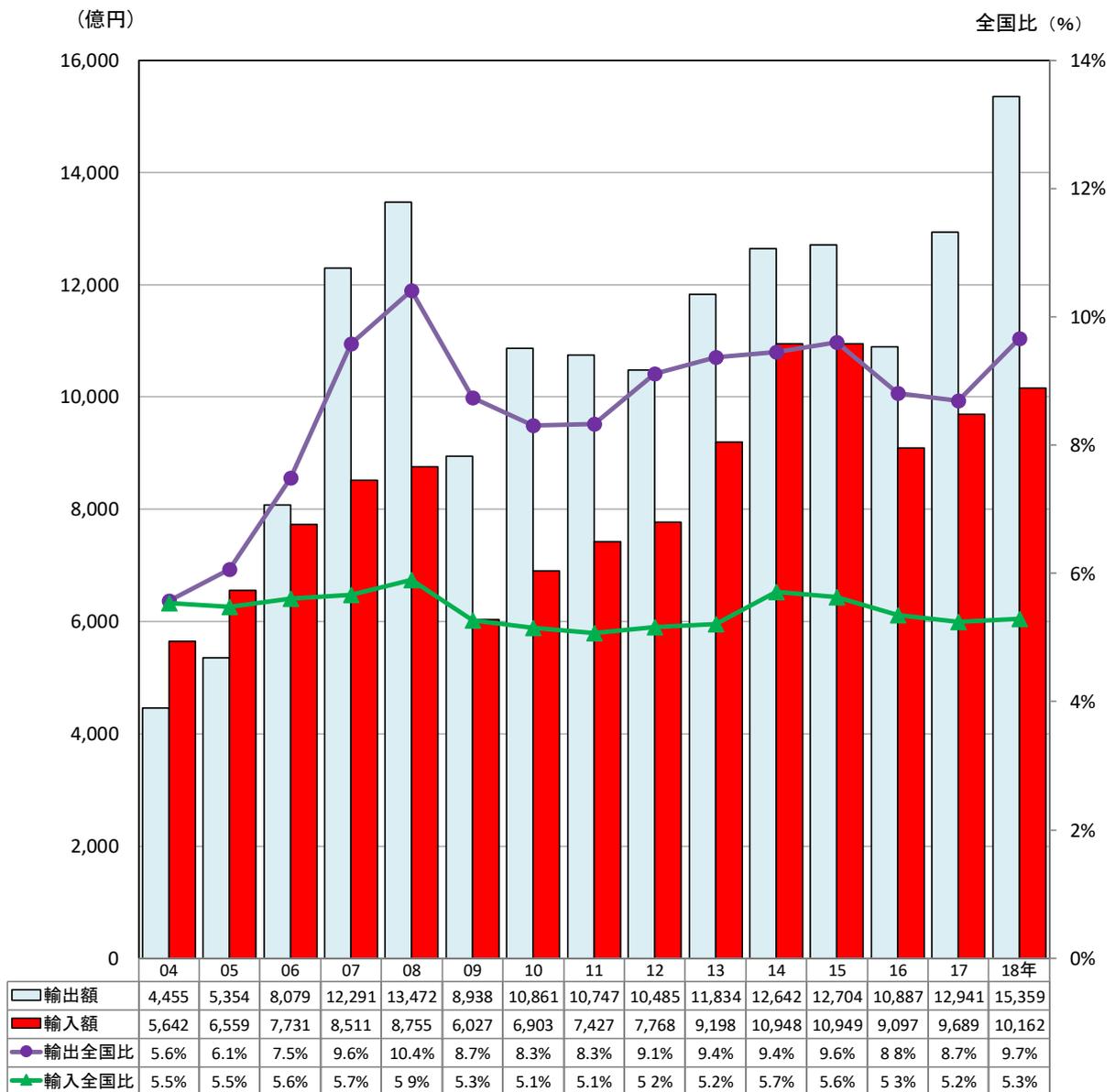
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲1.3%）、抗生物質製剤（▲0.5%）

●輸入品目（輸入額多い順）自動車の部分品、半導体等電子部品、有機化合物

〈寄与度↑〉無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）

〈寄与度↓〉電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）

図表 2-2-2 九州の対中国貿易額の推移

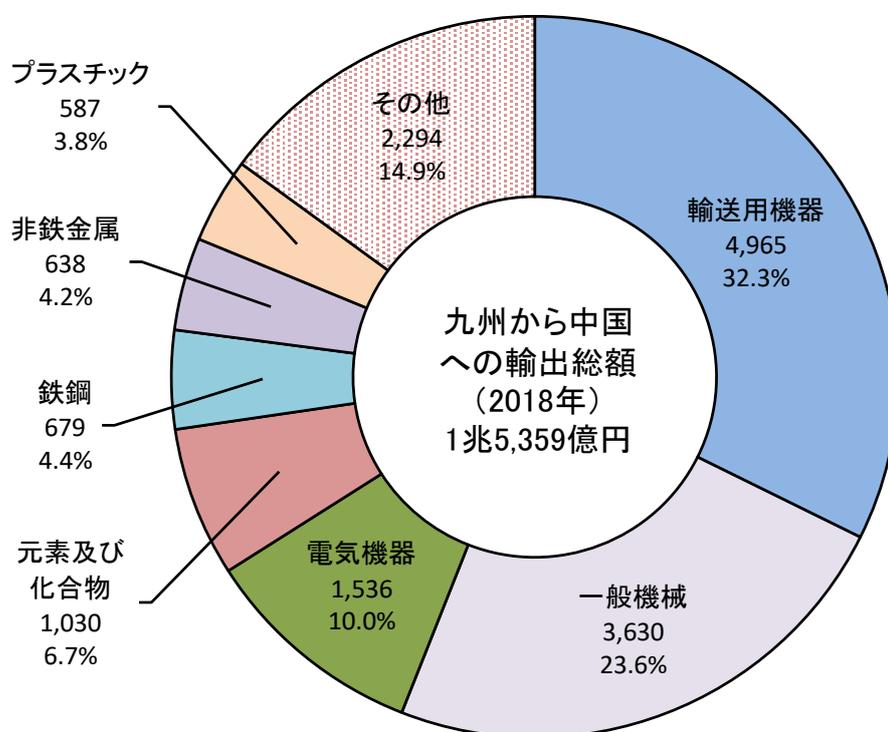


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-2-3 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	4,906	31.9%	22.4%	76.9%
半導体等製造装置	一般機械	2,270	14.8%	59.6%	21.0%
有機化合物	元素及び化合物	954	6.2%	8.4%	12.2%
半導体等電子部品	電気機器	696	4.5%	▲19.5%	6.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	616	4.0%	4.1%	15.6%
銅及び同合金	非鉄金属	587	3.8%	7.5%	23.9%
原動機	一般機械	547	3.6%	13.4%	10.6%
科学光学機器	精密機器類	216	1.4%	18.6%	2.6%
映像機器	電気機器	206	1.3%	96.1%	18.0%
電気回路等の機器	電気機器	169	1.1%	▲26.2%	2.8%
その他		4,191	27.3%	-	-
総額		15,359	100%	18.7%	9.7%

寄与度 (増加分) : 自動車 (+6.9%)、半導体等製造装置 (+6.6%) 等

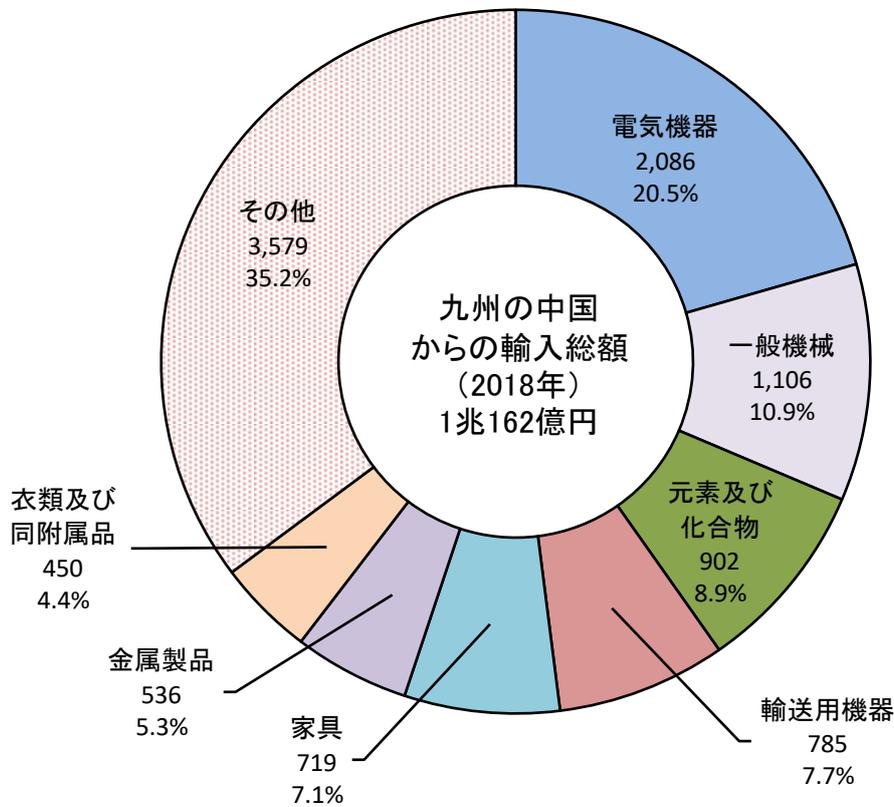
寄与度 (減少分) : 半導体等電子部品 (▲1.3%)、抗生物質製剤 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-4 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



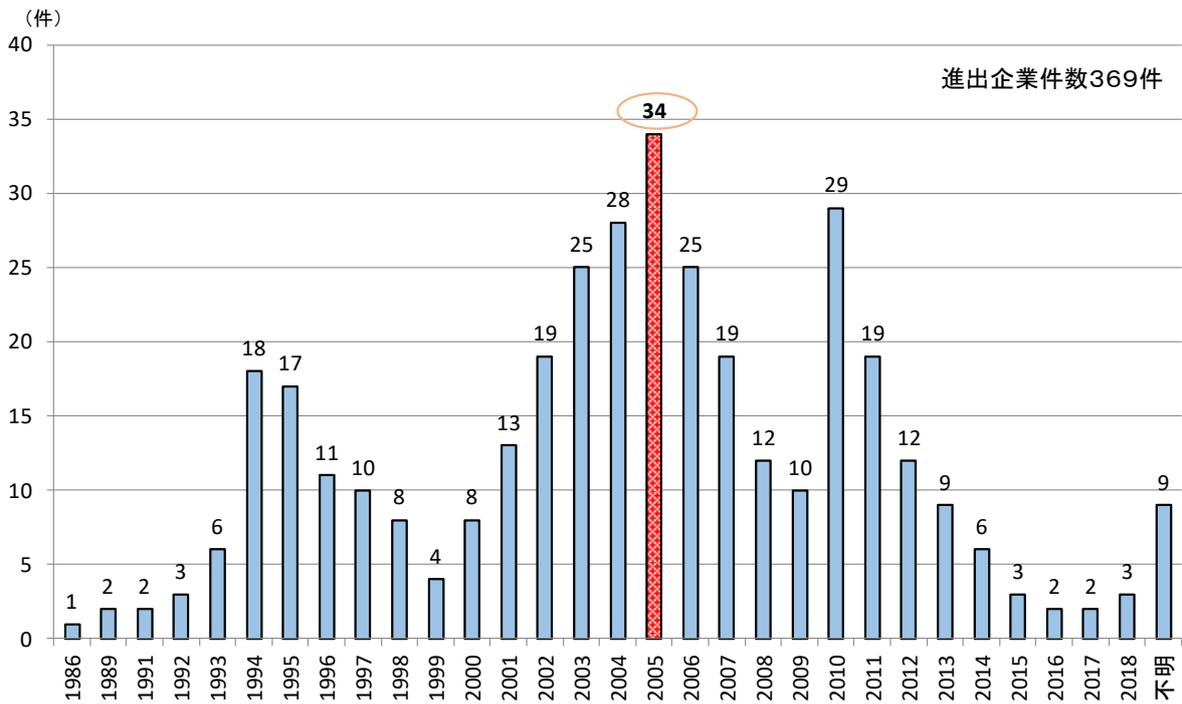
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車の部分品	輸送用機器	627	6.2%	▲8.4%	17.8%
半導体等電子部品	電気機器	551	5.4%	0.8%	11.0%
有機化合物	元素及び化合物	452	4.4%	▲2.1%	11.6%
無機化合物	元素及び化合物	435	4.3%	71.6%	13.8%
電気回路等の機器	電気機器	280	2.8%	▲24.6%	10.0%
野菜	果実及び野菜	253	2.5%	5.1%	9.3%
家庭用電気機器	電気機器	245	2.4%	16.7%	5.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	243	2.4%	▲6.9%	2.6%
加熱用・冷却用機器	一般機械	219	2.2%	20.2%	7.5%
プラスチック製品	その他の雑製品	208	2.0%	3.4%	5.4%
その他		6,649	65.4%	-	-
総 額		10,162	100%	4.9%	5.3%

寄与度 (増加分)：無機化合物 (+1.9%)、石油製品 (+0.7%) 等

寄与度 (減少分)：電気回路等の機器 (▲0.9%)、自動車の部分品 (▲0.6%) 等

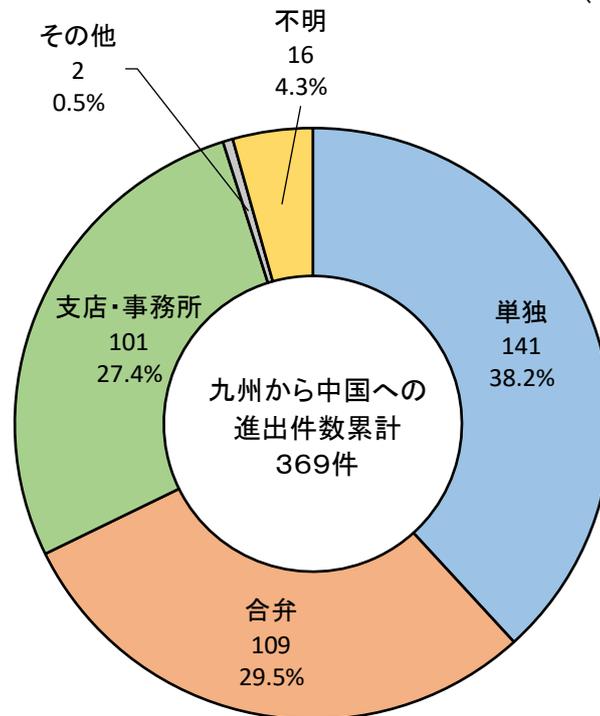
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-5 九州企業の中国への進出件数の推移



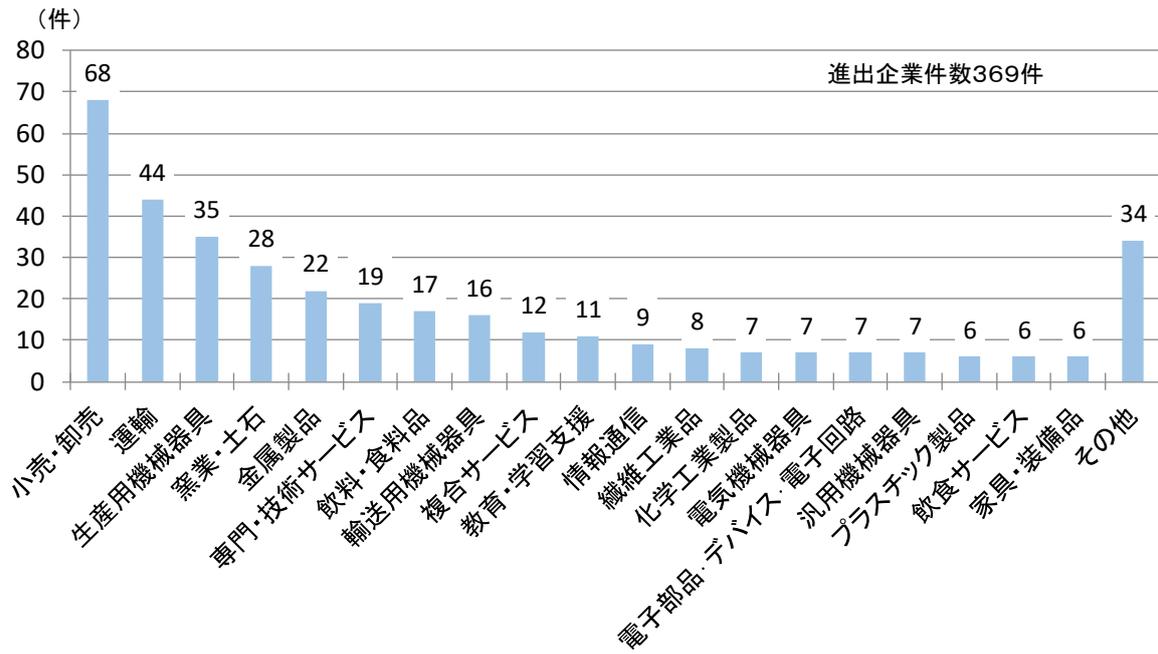
図表 2-2-6 九州企業の中国への進出形態

(単位：億円、%)



図表 2-2-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-7 中国に進出した九州企業の業種別内訳



出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

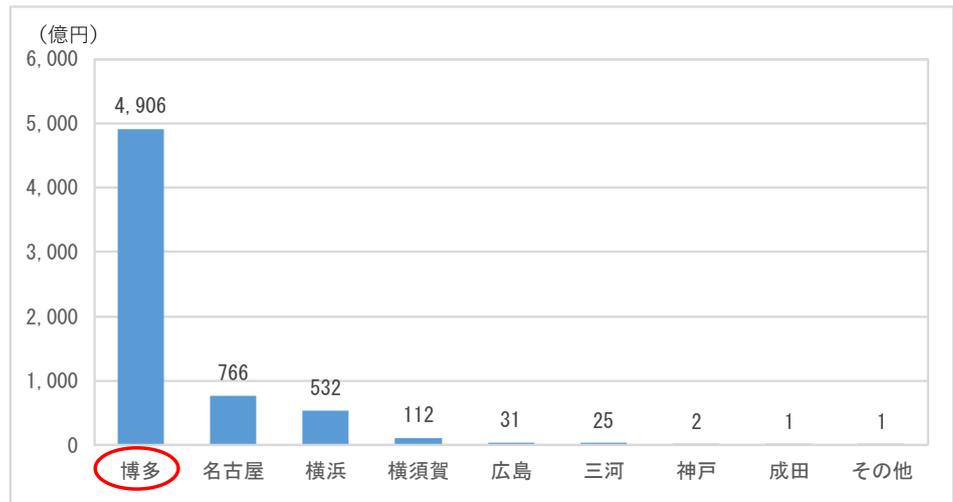
【トピックス】九州から中国への自動車の輸出について

2018年の九州の自動車輸出額（1兆6,487億円）は全国比13.4%ですが、中国への自動車輸出額（全国：6,377億円、九州：4,906億円）については全国比76.9%となっており、九州からの輸出が全国の8割弱を占めています。

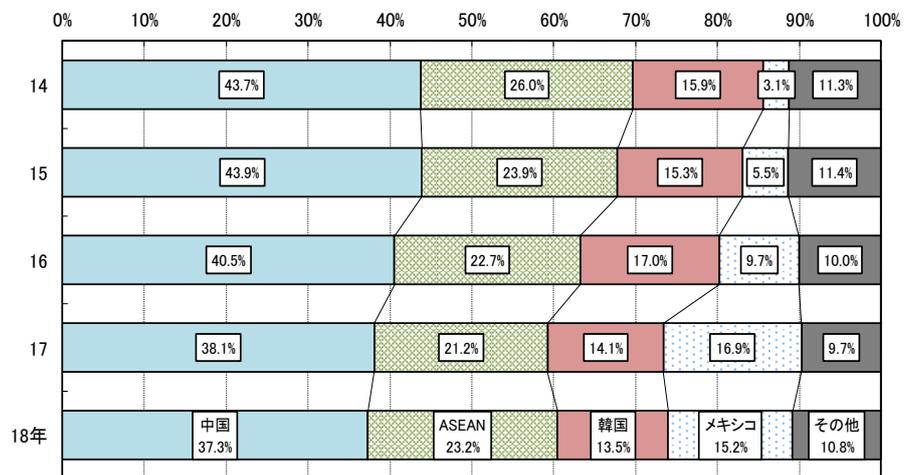
九州からの輸出は全て博多港からのもので、港別の中国への自動車輸出額について、博多港は2016年から3年連続で全国第1位となっています。

一方で、九州の自動車の部分品の輸入についても、中国は最大の輸入相手国となっており、品目別ではバンパーや車体及びその部分品・附属品の全国比が高いことがわかります。

港別の中国への自動車輸出額（2018年）



九州の自動車の部分品の輸入相手国・地域の推移



中国からの自動車の部分品の輸入品目別内訳（2018年）

品目名	金額 (億円)	全国比
バンパー及びその部分品	21.1	43.1%
車体（運転室を含む。）その他の部分品及び附属品	208.1	30.2%
ラジエーター及びその部分品	9.7	23.1%
ブレーキ及びサーボブレーキ並びにこれらの部分品	71.6	21.0%
車輪並びにその部分品及び附属品	139.7	13.3%
ハンドル、ステアリングコラム及びステアリングボックス並びにこれらの部分品	15.6	12.1%
安全エアバッグ（インフレーターシステムを有するものに限る。）及びその部分品	36.7	11.1%
懸架装置及びその部分品（ショックアブソーバーを含む。）	10.0	10.1%
ギヤボックス及びその部分品	3.6	4.2%
消音装置（マフラー）及び排気管並びにこれらの部分品	2.3	3.9%
駆動軸及び非駆動軸並びにこれらの部分品	1.0	1.0%
クラッチ及びその部分品	0.6	0.8%
その他のもの	106.7	23.3%
総計	626.6	17.8%

第3章 九州と環黄海经济圈の経済関係

1. 環黄海经济圈の概要

- 九州と韓国・中国の黄海に面した沿岸部で構成される環黄海经济圈は、国家間で協定を結んで形成された EU や ASEAN 等とは異なり、貿易や投資、人の移動等の実体経済の結びつきを背景とした局地经济圈である。
- 圏域は直径約 1,500km 内に収まり、その地理的近接性や長い交流の歴史などを背景として、人的交流、経済交流及び地域間交流などが活発に行われているエリアである。
- 環黄海经济圈の人口は約 4 億人で、他の地域经济圈に比べると比較的少ないものの、GDP では約 5.7 兆ドルで、ASEAN や MERCOSUR を上回る規模となっており、環黄海经济圈の動向が世界に与える影響は小さくない。

図表 2-3-1 環黄海地域の骨格

【環黄海地域図】

※環黄海地域：日本(九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
 中国(北京市、天津市、河北省、遼寧省、上海市、江蘇省、山東省)
 韓国(釜山市、仁川市、光州市、大田市、京畿道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道、済州島)



【凡例】

行政区名	(単位)
人口	万人
GDP	億円
GDP/人	円/人

	人口 (万人)	面積 (万k)	GDP (億円)	GDP構成 比(%)
九州	1,307	4	459,089	8.3%
中国(環黄海地域)	36,070	63	4,899,385	35.7%
韓国(環黄海地域)	3,196	5	1,015,368	59.2%
合計	40,573	73	6,373,841	

備考：GDP構成比は当該地域のGDPが国全体のGDPに占める割合を示す。

備考：1ウォン=0.099円、1元=16.60円(2017年時点)で換算(内閣府「海外経済データ」)

出所：【九州】(人口)総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(H30.1.1現在)」

(GDP)内閣府「県民経済計算」平成28年度県内総生産(名目)

(面積)国土交通省「平成30年全国都道府県市区町村別面積調」

【中国】(人口、GDP、面積)中国経済データハンドブック(2018年版)(データは2017年時点)

【韓国】(人口、GDP、面積)「Korea Statistical Yearbook 2018」(データは2017年時点)

【トピックス】環黄海経済・技術交流会議について

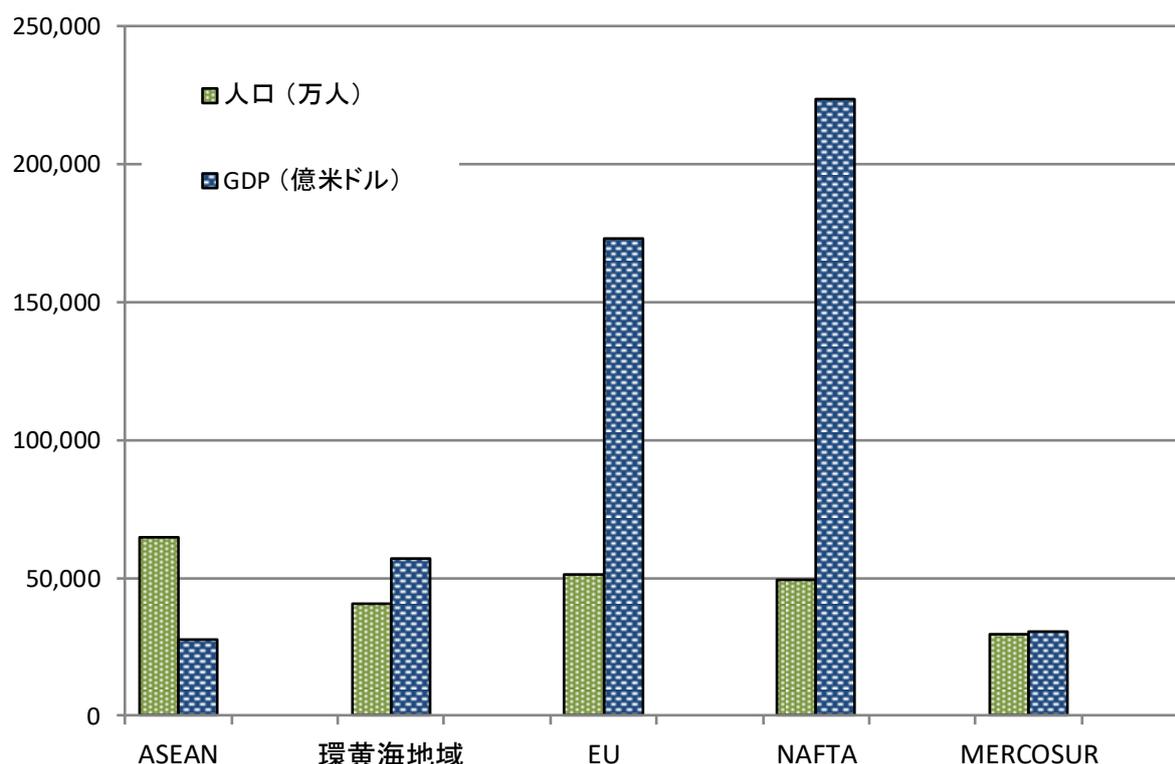
- 九州経済産業局では、中国、韓国等の東アジア・環黄海地域の成長ダイナミズムと連動し、九州の産業・企業の国際競争力を確保することを目的として、韓国、中国の中央政府や経済団体とのパートナーシップのもと、2001年3月から九州・韓国・中国持ち回りで「環黄海経済・技術交流会議」を開催しています。
- 2019年は第18回目となる同会議を11月20日～21日に中国・山東省済寧市において開催しました。会議には、九州・中国・韓国からの代表団総勢約370名が参加し、『「地域間交流の促進」と「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」』の全体テーマのもと、事例発表や連携提案があり、今後の環黄海地域における協力等について、活発な議論が行われました。
- また、環黄海地域内で先進的・模範的な取組を行う経済団体、企業や地方公共団体等を三国共同で表彰する「環黄海経済・技術交流大賞」の第5回目となる表彰式が行われました。(九州からは、「(株)オークマ 代表取締役社長 大隈賢一郎氏」及び「チーム九州」が受賞)

※2020年の会議(第19回)は、熊本県熊本市で開催します。

★第18回環黄海経済・技術交流会議★



図表 2-3-2 世界の地域経済圏との比較（2017年・グラフ）



図表 2-3-3 世界の地域経済圏との比較（2017年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	64,748	27,650	4,270
環黄海地域	(3か国)	40,573	56,964	14,040
欧州連合 (EU)	28か国	51,115	173,129	33,870
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,401	223,950	45,333
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,580	30,367	10,266

※為替レート（2017年） 1ドル=112.17円、1130.43ウォン、6.76円で換算（内閣府「月刊海外経済データ」）

図表2-3-2～3備考：九州のGDPは、2016年度の値（1ドル=108.79円で換算）

韓国・中国のGDPは、2017年の値（1ドル=1,130.43ウォン、6.76円）

NAFTA加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）

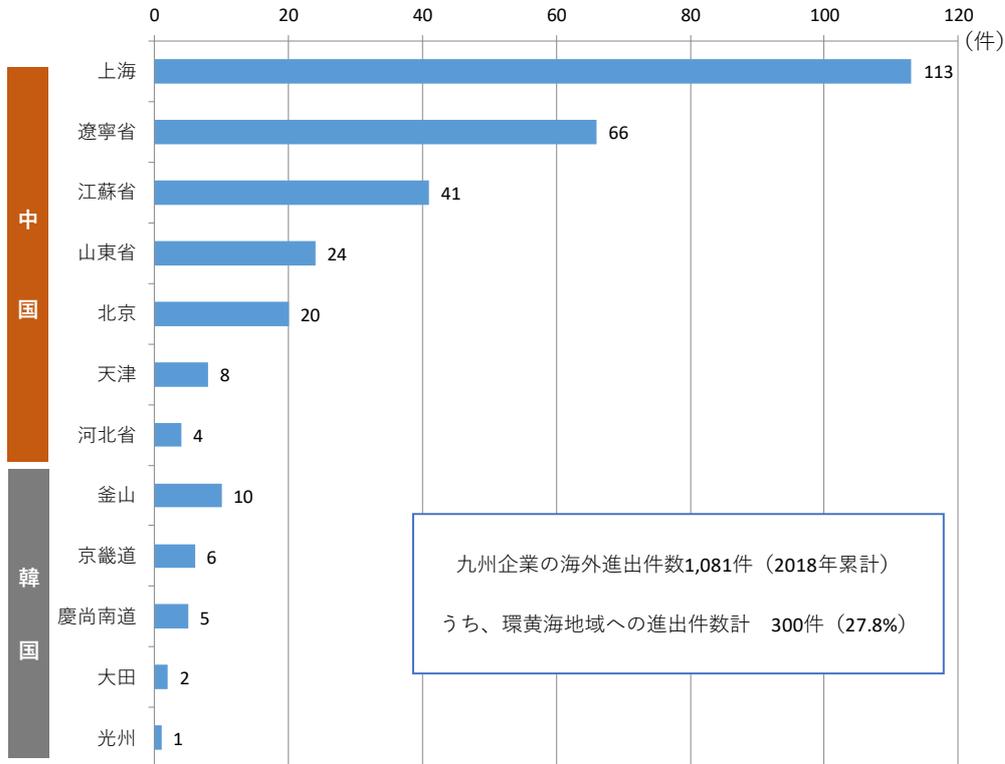
MERCOSUR加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表2-3-2～3出所：環黄海地域以外については、UNCTAD statより九州経済産業局作成。

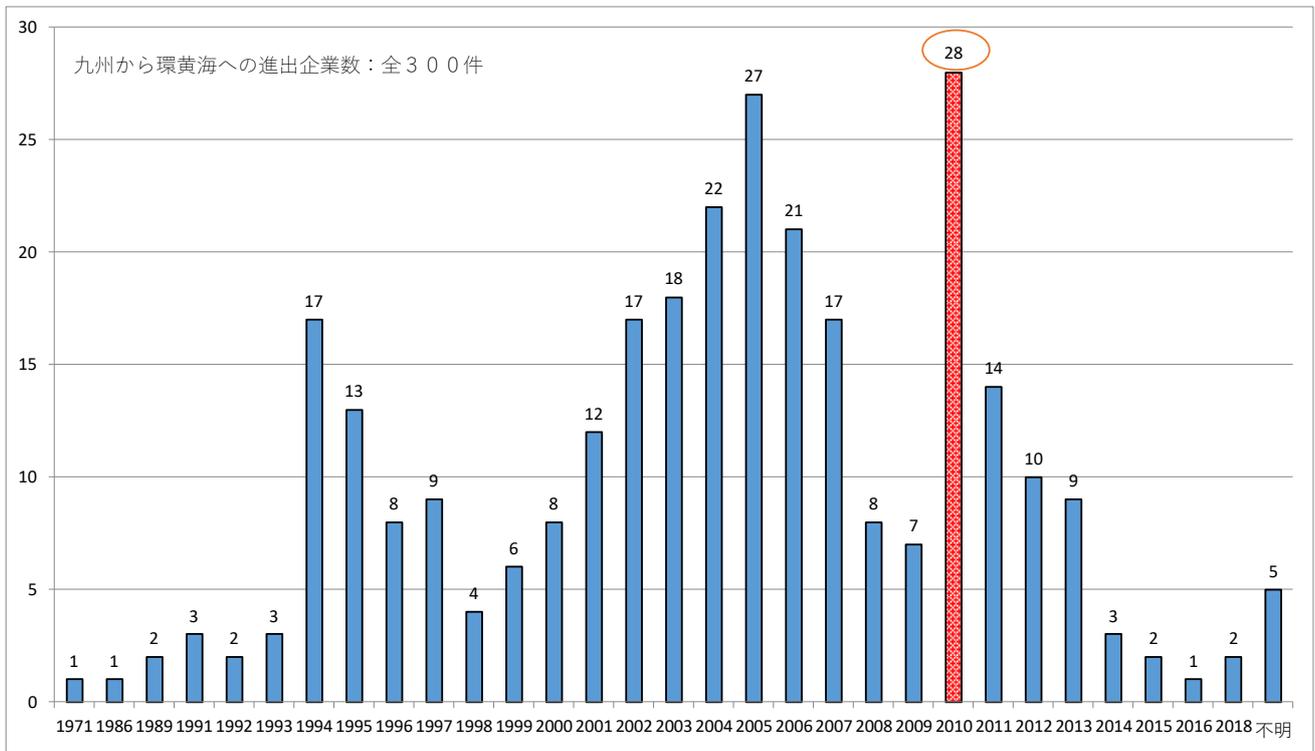
環黄海地域については、人口・GDPは図表2-3-1参照。

2. 環黄海经济圈の経済動向

図表 2-3-4 九州から環黄海地域への企業進出件数（2018年累計）



図表 2-3-5 九州企業の環黄海地域への進出件数の推移

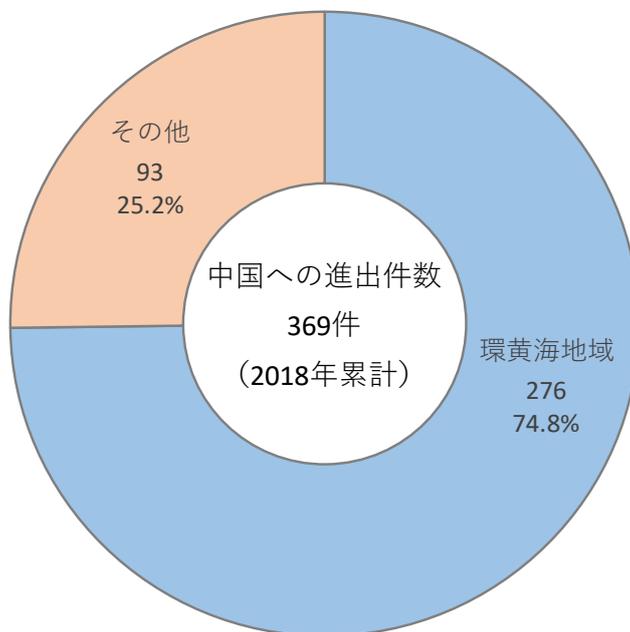


図表 2-3-4～5 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より
九州経済産業局作成。

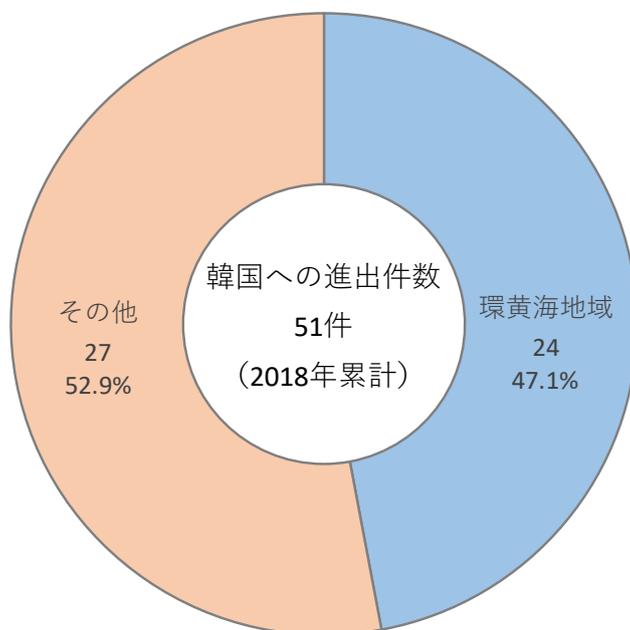
図表 2-3-6 九州から環黄海地域への企業進出件数（国ごとのシェア）

（単位：件、％）

【 中 国 】



【 韓 国 】



出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

第4章 九州と台湾の経済関係

1. 台湾の経済概況

国・地域名	台湾
面積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人口	約2,359万人(2018年12月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言語	中国語、台湾語、客家語等
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-4-1 台湾のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.0	0.8	1.5	3.1	2.6
名目GDP総額	10億ドル	531	526	531	575	590
一人当たりGDP(名目)	ドル	22,639	22,374	22,573	24,390	25,008
輸出額	億ドル	3,194	2,844	2,792	3,155	3,340
	前年比(%)	2.7	▲ 11.0	▲ 1.8	13.0	5.9
輸入額	億ドル	2,811	2,364	2,292	2,572	2,848
	前年比(%)	1.3	▲ 15.9	▲ 3.0	12.2	10.7
貿易収支	億ドル	383	481	500	583	492
対日貿易収支	億ドル	▲ 219	▲ 193	▲ 212	▲ 214	▲ 214
鉱工業生産指数	前年比(%)	6.4	▲ 1.3	2.0	5.0	3.6
失業率	(%)	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	1.2	▲ 0.3	1.4	0.6	1.3
直接投資受入額	億ドル	28	24	93	33	70*
為替レート(1ドル)	台湾元	30.37	31.91	32.33	30.44	30.16
為替レート(1台湾元)	円	3.49	3.79	3.37	3.68	3.66

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和元年10月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

2. 九州と台湾の経済動向

● 2018年の九州の対台湾貿易額

輸出総額：3,742億円（前年比0.4%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額：3,136億円（前年比1.0%増） → 2年連続のプラス

差引額：606億円（前年比7.1%減）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、有機化合物

〈寄与度↑〉自動車（+3.2%）、銅及び同合金（+1.0%）

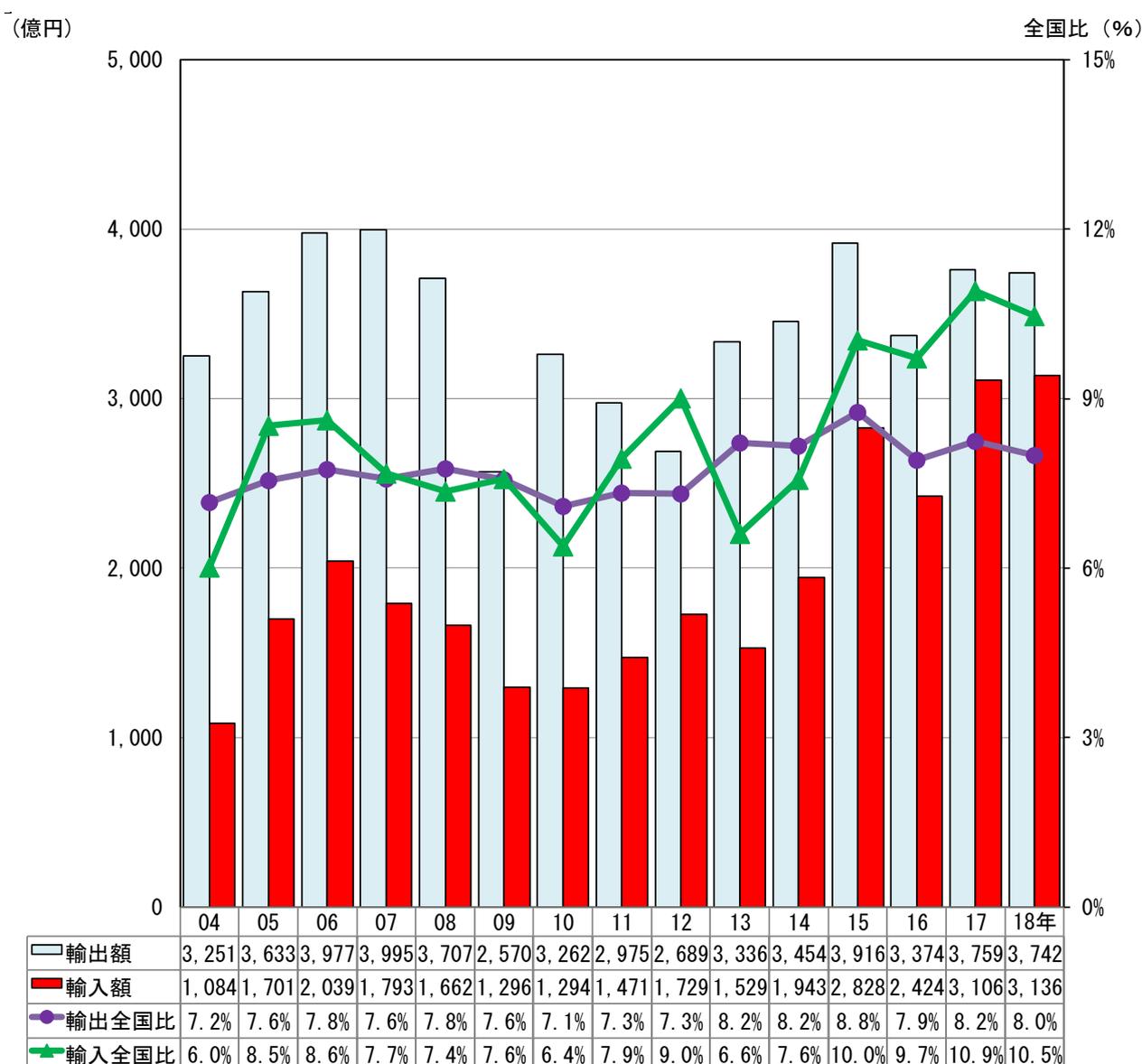
〈寄与度↓〉原動機（▲4.0%）、ポンプ及び遠心分離機（▲1.3%）

● 輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物

〈寄与度↑〉有機化合物（+1.7%）、非鉄卑金属くず（+0.5%）

〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲3.1%）、科学光学機器（▲0.8%）

図表 2-4-2 九州の対台湾貿易額の推移

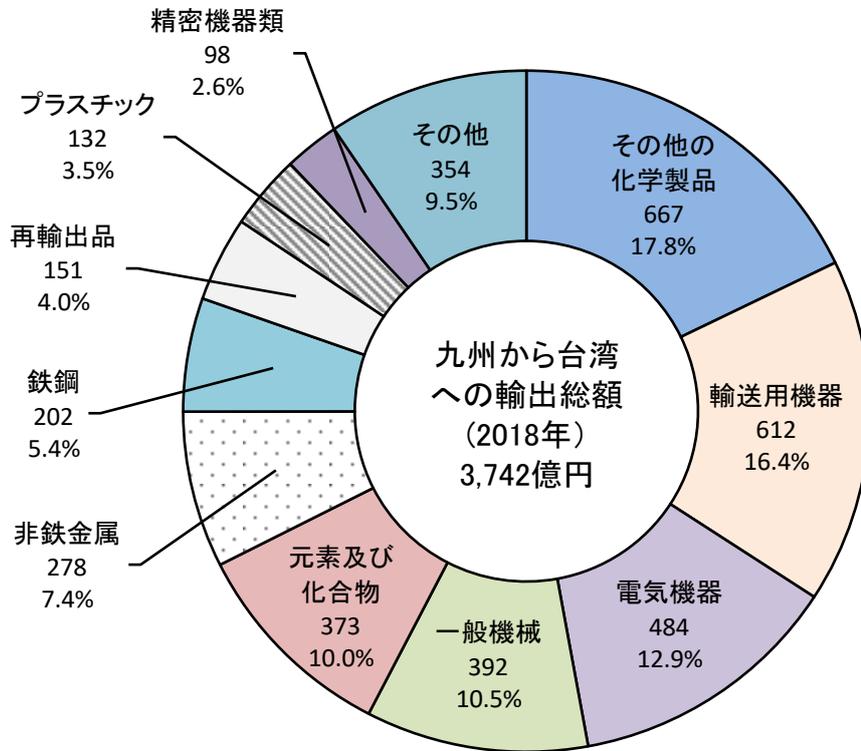


出所：財務省「貿易統計」、関税提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-4-3 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	589	15.7%	25.4%	22.7%
半導体等電子部品	電気機器	359	9.5%	▲7.5%	5.0%
有機化合物	元素及び化合物	267	7.1%	1.7%	13.3%
銅及び同合金	非鉄金属	228	6.1%	19.6%	14.3%
半導体等製造装置	一般機械	194	5.2%	▲12.0%	4.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	139	3.7%	0.4%	20.4%
科学光学機器	精密機器類	98	2.6%	▲10.4%	7.4%
無機化合物	元素及び化合物	95	2.5%	▲2.0%	14.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	36	1.0%	▲57.0%	7.9%
ベアリング及び同部分品	一般機械	32	0.9%	6.1%	16.4%
その他		1,706	45.4%	-	-
総 額		3,742	100.0%	▲0.4%	8.0%

寄与度 (増加分)：自動車 (+3.2%)、銅及び同合金 (+1.0%) 等

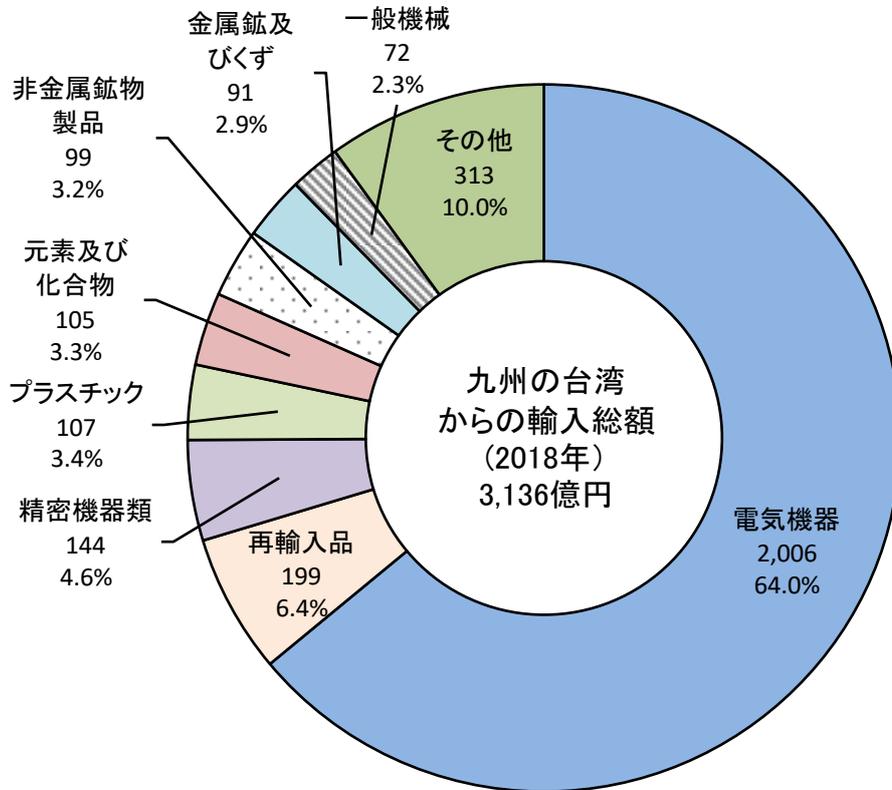
寄与度 (減少分)：原動機 (▲4.0%)、ポンプ及び遠心分離機 (▲1.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-4 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



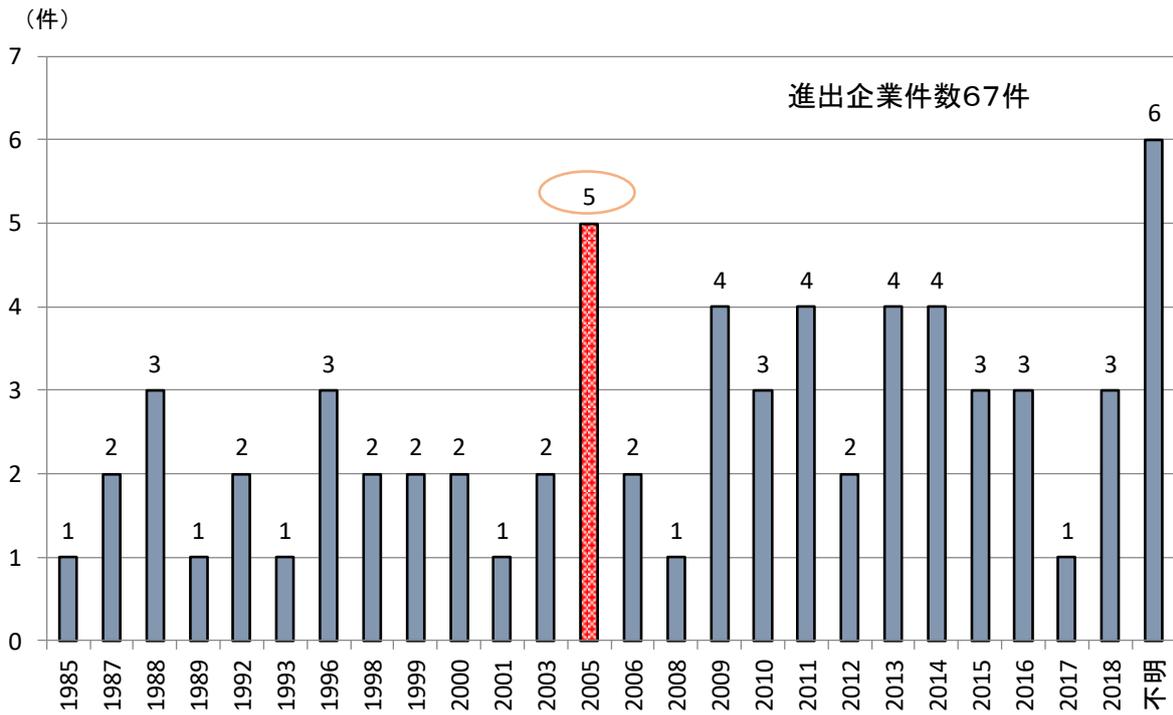
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,928	61.5%	▲4.8%	16.5%
科学光学機器	精密機器類	144	4.6%	▲15.5%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	93	3.0%	127.5%	18.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	75	2.4%	26.7%	40.3%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.7%	5.8%	6.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	22	0.7%	▲12.5%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	22	0.7%	7.5%	2.9%
重電機器	電気機器	18	0.6%	2.5%	9.6%
魚介類	魚介類及び同調整品	16	0.5%	54.6%	2.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	14	0.4%	▲17.6%	16.6%
その他		782	24.9%	-	-
総 額		3,136	100%	1.0%	10.5%

寄与度 (増加分)：有機化合物 (+1.7%)、非鉄卑金属くず (+0.5%) 等

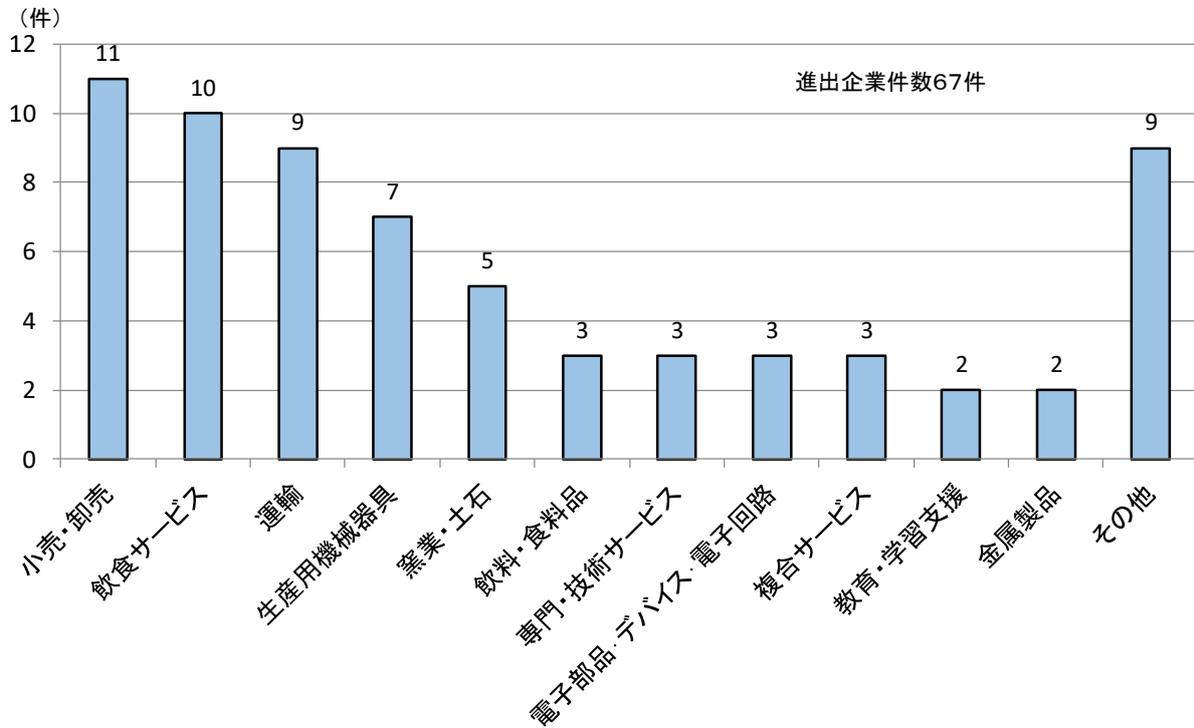
寄与度 (減少分)：半導体等電子部品 (▲3.1%)、科学光学機器 (▲0.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-5 九州企業の台湾への進出件数の推移



図表 2-4-6 台湾に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-4-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

第5章 九州と香港の経済関係

1. 香港の経済概況

国・地域名	香港
面積	1,106km ² (東京都の約半分)
人口	約734万人(2016年)
人種	中国系(約91%)
言語	広東語、英語、中国語(マンダリン)ほか
宗教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政体	中華人民共和国香港特別行政区(Hong Kong Special Administrative Region: SAR)
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-5-1 香港のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.8	2.4	2.2	3.8	3.0
名目GDP総額	10億ドル	291	309	321	342	363
一人当たりGDP(名目)	ドル	40,182	42,322	43,496	46,096	48,451
輸出額	億ドル	4,740	4,655	4,626	4,976	5,312
	前年比(%)	3.2	▲ 1.8	▲ 0.6	7.6	6.7
輸入額	億ドル	5,449	5,226	5,170	5,595	6,029
	前年比(%)	4.0	▲ 4.1	▲ 1.1	8.2	7.8
貿易収支	億ドル	▲ 709	▲ 571	▲ 544	▲ 619	▲ 717
対日貿易収支	億ドル	▲ 203	▲ 202	▲ 185	▲ 192	▲ 183 *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 0.4	0.5	1.3
失業率	(%)	3.3	3.3	3.4	3.1	2.8
消費者物価指数	前年比(%)	4.4	3.0	2.4	1.5	2.4
直接投資受入額	億ドル	1,298	1,810	1,333	1,257	865 *
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.75	7.75	7.76	7.79	7.84
為替レート(1香港ドル)	円	13.66	15.62	14.02	14.39	14.09

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和元年10月)、*1はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

2. 九州と香港の経済動向

● 2018年の九州の対香港貿易額

輸出総額：4,334億円（前年比15.6%増） → 7年連続のプラス

輸入総額：181億円（前年比205.2%増） → 2年ぶりのプラス

差引額：4,152億円（前年比+12.5%）

● 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類

〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+19.1%）、電気回路等の機器（+1.5%）

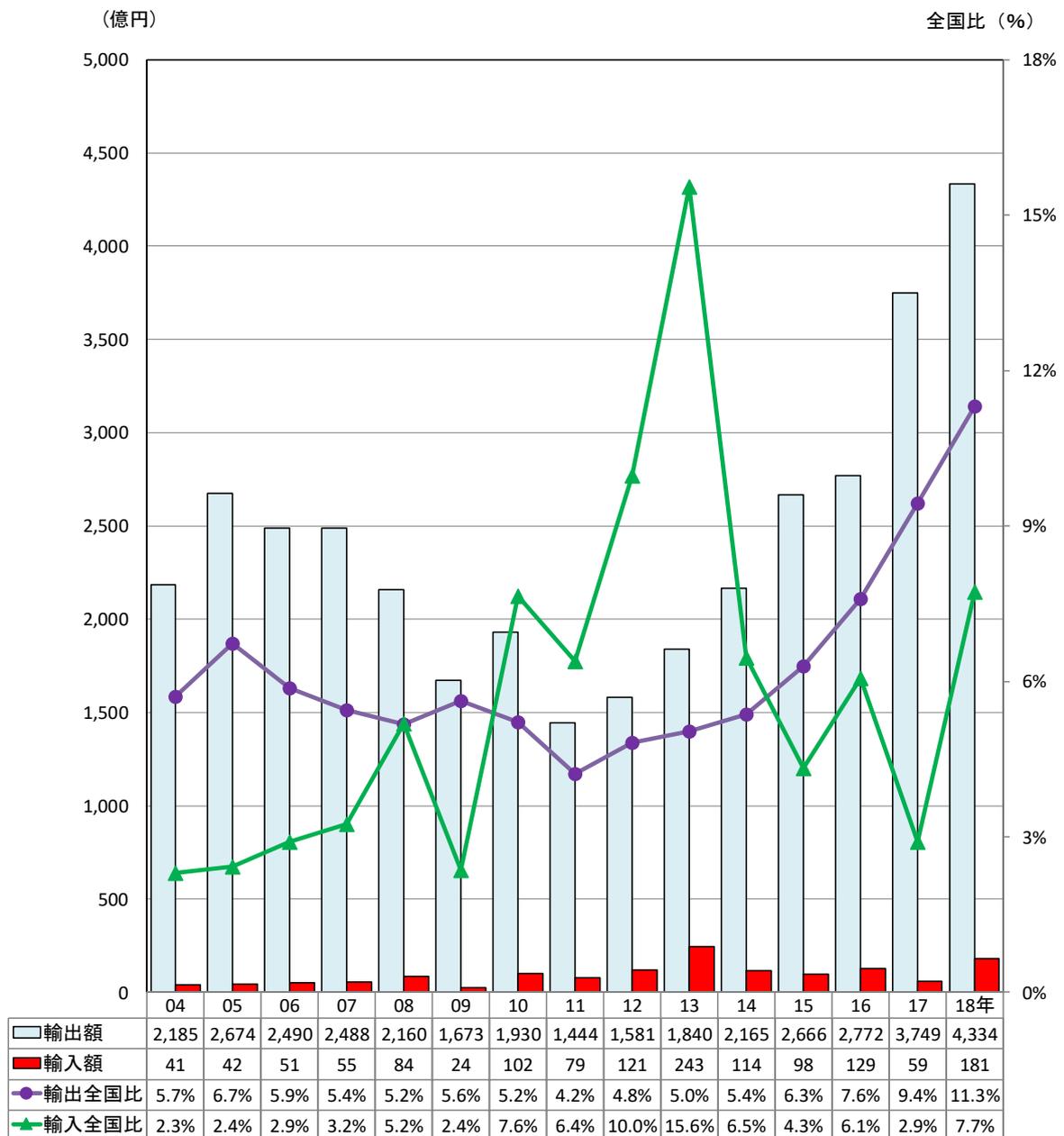
〈寄与度↓〉船舶類（▲7.6%）、化粧品（▲0.3%）

● 輸入品目（輸入額多い順）魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず

〈寄与度↑〉魚介類（+219.6%）、非鉄卑金属くず（+0.3%）

〈寄与度↓〉鉄鋼くず（▲9.7%）、通信機（▲0.1%）

図表 2-5-2 九州の対香港貿易額の推移

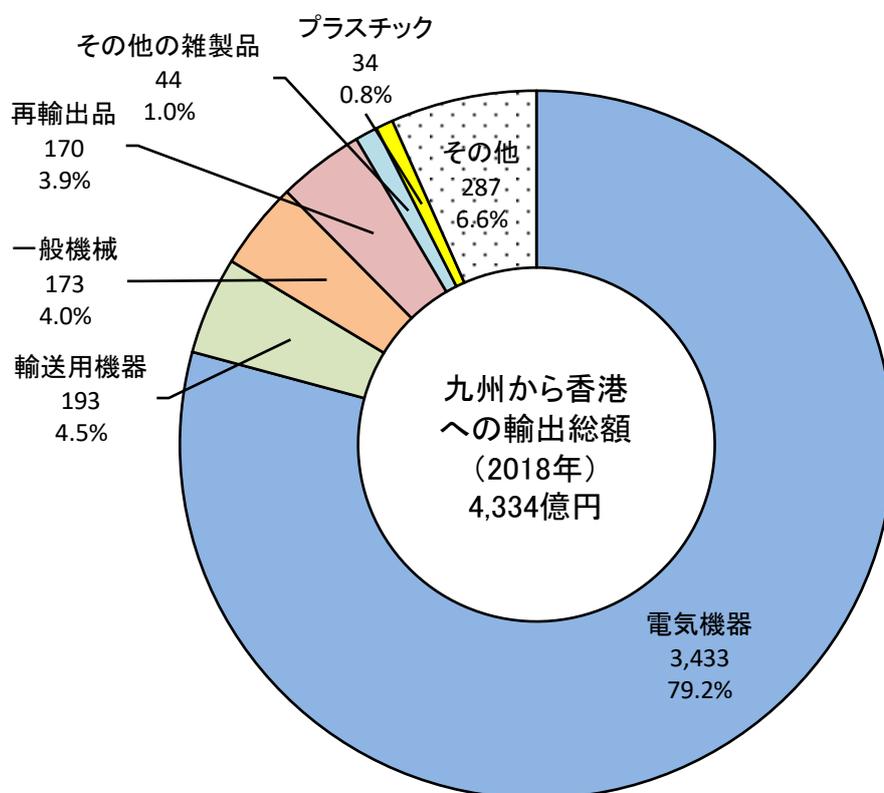


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-5-3 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	3,152	72.7%	29.4%	47.3%
電気回路等の機器	電気機器	187	4.3%	43.3%	8.1%
船舶類	輸送用機器	140	3.2%	▲66.9%	37.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	63	1.5%	▲6.1%	11.2%
自動車	輸送用機器	50	1.2%	45.0%	5.4%
映像機器	電気機器	36	0.8%	61.3%	16.2%
貴石等の製品類	その他の雑製品	27	0.6%	16.8%	2.5%
コンデンサー	電気機器	24	0.6%	4593.5%	1.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	22	0.5%	▲20.5%	40.9%
原動機	一般機械	21	0.5%	27695.4%	13.7%
その他		611	14.1%	-	-
総 額		4,334	100.0%	15.6%	11.3%

寄与度 (増加分) : 半導体等電子部品 (+19.1%)、電気回路等の機器 (+1.5%) 等

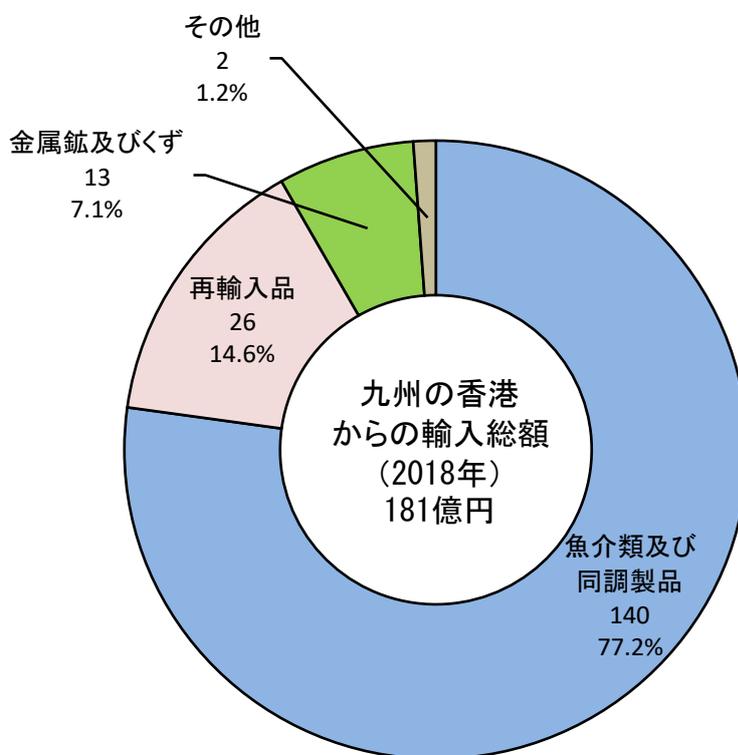
寄与度 (減少分) : 船舶類 (▲7.6%)、化粧品 (▲0.3%) 等

出所 : 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-4 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



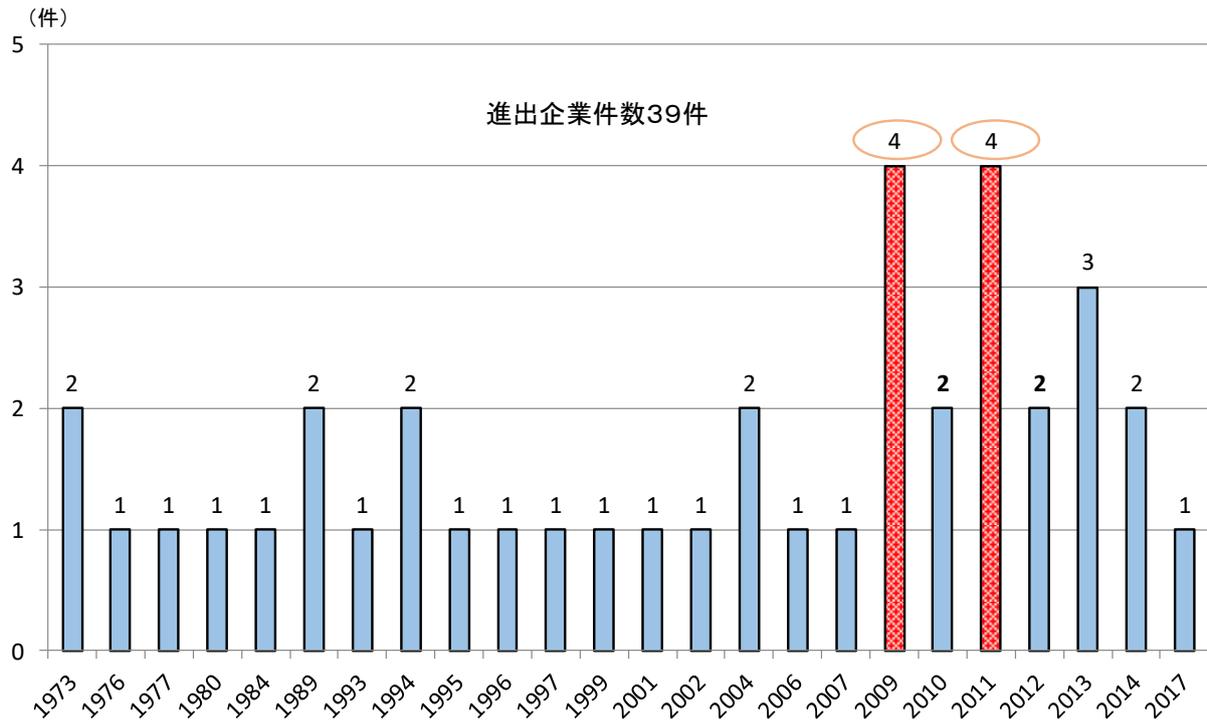
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
魚介類	魚介類及び同調製品	140	77.2%	1367.8%	66.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	5	3.0%	3.2%	18.1%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	3	1.6%	▲67.1%	41.0%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.6	0.3%	-	84.0%
自動車の部分品	電気機器	0.1	0.1%	-	14.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.1	0.1%	▲6.4%	1.9%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.1	0.0%	61.9%	1.5%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.1	0.0%	88.7%	1.3%
荷役機械	一般機械	0.1	0.0%	-	40.1%
ダイヤモンド	非金属鉱物製品	0.0	0.0%	582.1%	0.0%
その他		32.1	17.7%	-	-
総 額		181	100.0%	205.2%	7.7%

寄与度 (増加分) : 魚介類 (+219.6%)、非鉄卑金属くず (+0.3%) 等

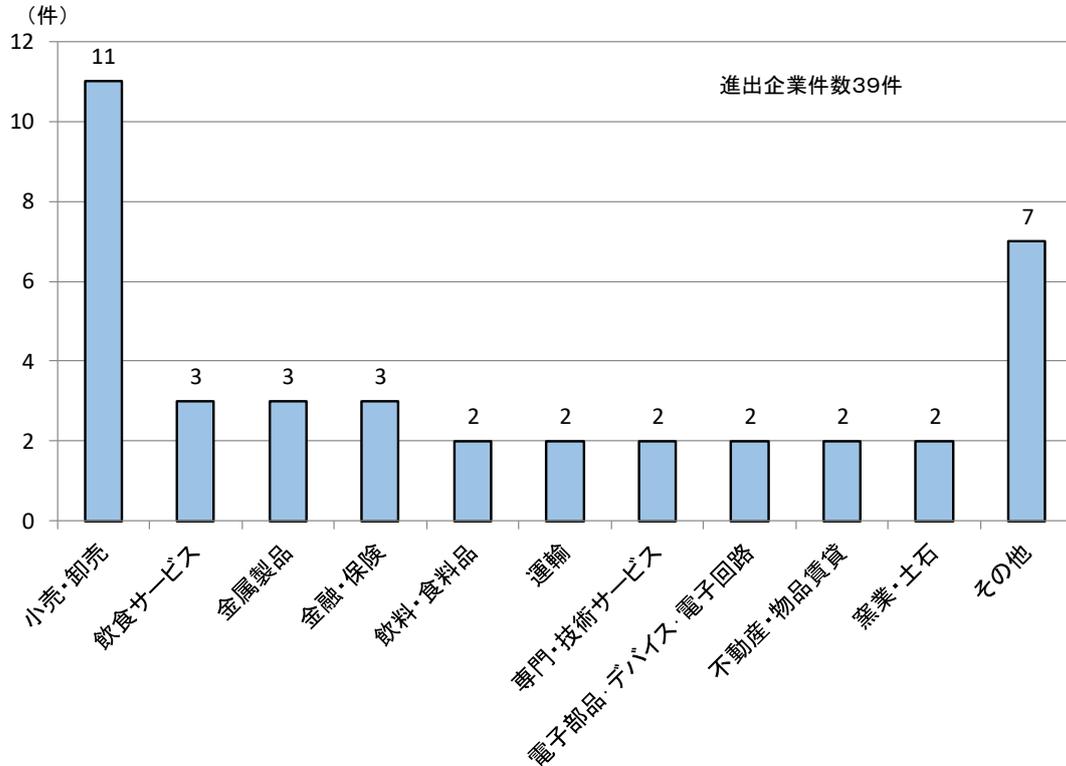
寄与度 (減少分) : 鉄鋼くず (▲9.7%)、通信機 (▲0.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-5 九州企業の香港への進出件数の推移



図表 2-5-6 香港に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-5-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。